

総会だより

4 月 2 5 日(火)午後 3 時より、本校体育館において、令和 5 年度 P T A 定期総会を開きました。出席者 1 1 4 名、委任状 4 3 0 名、計 5 4 4 名により会の成立を確認した後、議長として佐藤咲月さんを選出しました。

【ピックアップコメント】

- 今年度は「PTA は誰のため、何のためにあるのか」を皆さまとしっかりと考えていきたいです。
～青木会長あいさつより～
- 活動の目的や意義を見直したり、あるいは活動の削減が目的化しないようにして取り組むことが大事だと考えます。～木田校長あいさつより～

青木佑一前会長あいさつ

令和 4 年度は皆さまの多大なご支援のおかげで終えることができました。

1 年間のご理解とご協力に大変感謝しております。ありがとうございました。この総会の場で、これまでとこれからの話をどちらもしていきたいと思います。引き続きよろしくお願いします。

議事

- | | |
|------------|-------------|
| 1. 令和 4 年度 | 事業及び活動報告 |
| 2. 令和 4 年度 | 決算報告 |
| 3. 令和 4 年度 | 決算監査報告 |
| 4. 令和 5 年度 | 役員候補者発表及び承認 |
| 5. 令和 5 年度 | 予算案について |

詳細は『定期総会議案書』をご参照ください。議事はすべて承認されました。

令和5年度 P T A役員

会 長	青木 佑一
副会長	木村 沙織
副会長	島野 美樹
副会長	田野 明日香
副会長	長谷川 純奈
書 記	鹿毛 浩士
書 記	杉本 貴彦
書 記	湯野川 裕嗣
会 計	岡山 宗子
会 計	熊谷 久美子

令和5年度 会計監査人

内村 裕美
山下 奈緒

青木佑一会長あいさつ

皆さま、こんにちは。引き続き会長を務めます、青木佑一(あおきゆういち)です。任意で自発的な活動である PTA に参加いただきありがとうございます。大事にしたいのは、ボランティア活動で、自発性があるところを高めていきたいと思っています。

昨年の総会で、「すべては子どもたちの笑顔のために」ということで、学校の皆さま、CS、青少対、地域の皆さまとやっていくという話をしました。なかなか実現できていない部分もありましたが、皆さまの支えもあって1年やってこられました。前回総会の後、年末から今年にかけて、「本当にやるべきことを一緒に考えたいです」ということを皆さまに問いかけながら活動してきました。本部や運営委員会などでも話し合ったのですが、「PTA は誰のために、何のためにやるのか」といった話もありました。そういった中で、昨年度は1つの成果として、行事・広報を2名～4名にしたというものがありました。

くじ引きで役員を選出することについても様々な意見をいただいております。「公平なのでよい」といった前向きにとらえる意見もありました。実際に選出されて PTA にかかわられた中で、PTA 活動への理解が進んだといった声もありました。くじ引きをやめるというよりも、少しでも前向きな立候補に近づけていけることが大事なのだろうと思いました。

一方で、「PTA は任意団体なので、加入しないこともありうるのではないかな。ボランティアは強制ではないのではないかな」といった意見もありました。

実際に皆さまから投げかけていただいたテーマなので、「じゃあどうしていいかな」ということを考えていきたいと思っています。「PTA は誰のため何のため」というのを皆さまと考えながら、1つ1つの委員会のほうでも自律的・自発的に考えていくことが大事だと思っています。

今年度、私がせっかく2年目をやらせていただきますので、まず保護者の負担を減らすこと、PTAにかかわることの魅力や有益性の発信をおこなっていききたいと思います。そのためにも、各委員会など皆さまの方で話したことを、運営委員会で共有いただけると嬉しいかなと思います。時代の流れにPTAを合わせていくことも大事です。「全員参加のPTA」が時代にあってるか？「学校の役に立つPTAとは」ということも含めて、皆さまと話し合っていきたいと思います。

ぜひ会員の皆さまお1人お1人のご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

木田明男校長あいさつ

皆さまこんにちは。おいそがしい中、ご来校いただきましてありがとうございます。

今回は、このように皆さまが一堂に会してPTA総会が開催できることをうれしく思います。

まずは学校の近況ですが、1年生は99名が入学し、全校児童は706名でスタートしました。新しい行事としては、5年生が移動教室として八ヶ岳方面に宿泊します。学校生活を快適に送るに際して、PTA・保護者の皆さまのご協力を改めてお願いいたします。

私はおかげさまで本校校長に着任し5年目ですが、新型コロナウイルスの影響で様々な活動が縮小や中止を余儀なくされました。そのような中で、ようやく学校行事が戻ってきつつあると思っております。一方で、新しい生活様式だけでなく、教育のあり方の変化も訪れています。引き続き大きな変化に対応しながら、学校やPTAも対応していかなければならないと考えております。

そのような中で、PTA活動がアフターコロナで充実するためには、3つの要素があると考えました。

- やりがいある活動、達成感
- 人と人が助け合い、励ましあう、つながり
- 学び豊かになること

これらが満たされて、初めてPTAというボランティア活動が、負担感から充実感に代わると思っています。あるPTA連合会の資料からですが、こうした取り組みに共通する3つの視点がまとめてありました。

- 見える化 - 伝わって、つながる
- 活動の柔軟性 - 前例にとらわれず、できるときにできる範囲で
- 組織の多様性 - 多様な活動では様々な人がかかわるというのを前提に

多様な活動のなかでは、既にできあがった人間関係だけではなくて、初めて入ってくる人も快適に活動ができなければなりません。そのためには活動の目的や意義の見直しや、あるいは活動の削減が目的化しないようにして取り組むといったことが必要になります。PTA改革の参考になればと思い、お話をさせていただきました。

どうぞ今年1年間のPTA活動がますます充実したものになるように祈念して、あいさつと代えさせていただきます。本日はどうもおめでとうございます。

学校経営協議会(コミュニティ・スクール) 阿久津三千代会長あいさつ

令和4年度のPTAの皆さま、各委員会の皆さま、1年間お疲れさまでした。そして、新年度のPTA発足、おめでとうございます。令和5年度の新役員、新委員の皆さま、どうぞよろしくお願いいたします。

長年にわたりCS活動をされた委員の甲斐さんが3月末で退任されました。今年度からは新メンバーに元青少年委員や青少対で活躍されている大谷さんをお迎えすることになりました。「学校」「保護者」「地域」のつながりをスムーズにして、子どもたちが楽しく過ごせる学校になるお手伝いをしていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

東京サレジオ学園 田村寛園長あいさつ

東京サレジオ学園の田村と申します。

学園全体では幼児から高校生まで98名の子どもたちが生活しております。三小に通う様々な事情で家庭を離れて学園で過ごしている子どもたちですが、日々心の内にたくさんの想いをもちながらいろいろな経験をして成長していきます。この春も6名の子どもが高校卒業を機に学園を巣立っていきました。その姿に大人のほうが教えられることも多く、あらためて敬意をもって子どもたちに接していきたいと思っています。

これからも子どもたちがいろいろな形でこの地域で生活をしていくなかで、ご迷惑おかけすることもあると思いますが、遠慮なくいろんなことを言っていただいて、私たちもこの地域の中で、できることをやっていきたいと思っていますので、どうぞよろしくお願いいたします。お時間いただき、ありがとうございました。

青少対 三浦副会長・野口副会長あいさつ

青少対って何かって言われたときに、私も(当初は)よくわからなかったのですが、「地域と学校で子どもたちの楽しい行事を頑張って考えていく。ついでに、あわよくば自分も楽しむ」という存在です。ちょっとまだ準備ができていないですが、「青少対ってなに」というおたよりを配布しようと思っています。これをみて「青少対やってみたいな」という方がいらっしゃいましたら、ぜひともご参加くださいますようお願いいたします。